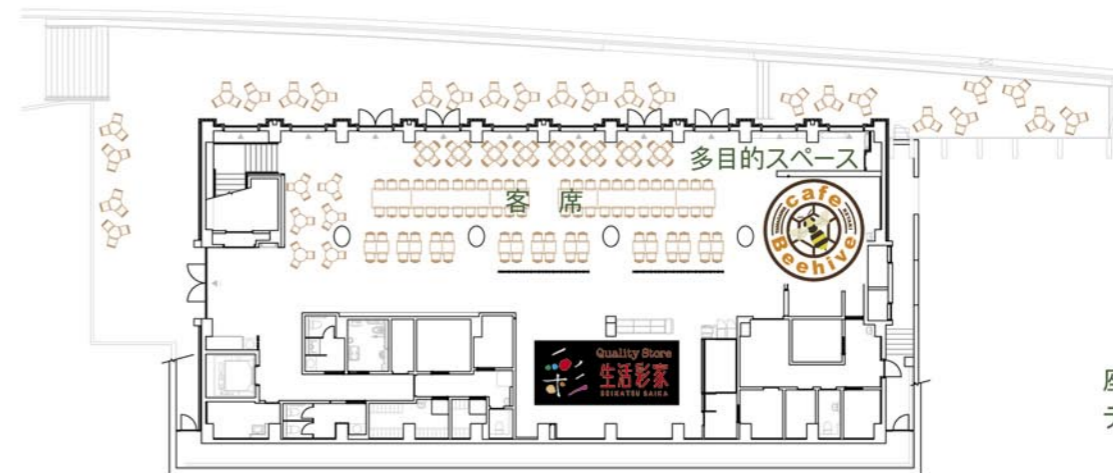




KEYAKI 

1F



座席数：132席  
テラス席：82席



## cafe Beehive

バリスタによるおいしいコーヒーや焼き立てパンなど、豊富なメニューを取りそろえています。くつろぎの空間で、休憩、自学自習にご利用ください。  
運営：株式会社グリーンハウス



## Contemporary & Casual

明るい色を基調に、カラーバリエーション豊富な家具を配置し、にぎやかで楽しい雰囲気を演出。カフェにふさわしく、気軽に立ち寄れる空間です。



待望のコンビニエンスストア「生活彩家」がOpen。街中の店舗と変わらない品揃えで、皆さまのニーズに応えます。

運営：株式会社ポプラ





# Restaurant Keyaki

クラシカルな雰囲気にあった、豊富なメニューを取りそろえています。

テラス席へ続く開放的な空間でお楽しみください。

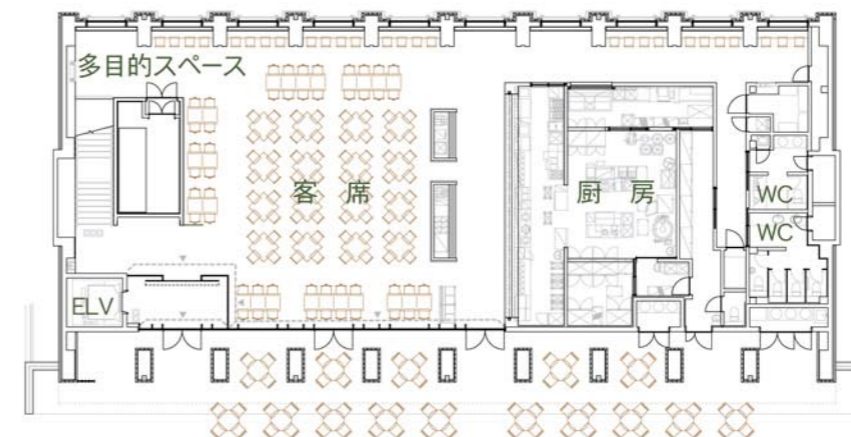
運営：EYフードサービス



## Classic

印象的なアーチ梁の大きな空間に重厚感のあるモチーフを散りばめ、あたたかい質感の木家具を配しました。

同色のカラーグラデーションで、ゆったりと落ち着きのある空間です。



座席数：144席  
テラス席：132席

# Design



## 「新しい風景」と「豊かな外部空間」をつくる

玉川学園のもつ魅力を再認識しながら考えられた、新食堂 "KEYAKI" のデザインコンセプトです。

## 街路をデザインする

松陰橋から見る新食堂 "KEYAKI" は、チャペルと切妻屋根を連ね、その間にレンガの外壁が印象的な西欧都市のような美しい街路（キャンパスモール）になっています。

この街路には、1階のカフェからオープンテラスがつながり、キャンパスライフを活気と賑わいで彩ります。そして、このテラスから松陰橋越しにみる樹林の風景は、玉川学園の新しい景観となります。

外装は外断熱工法による最新の断熱性能。その表情は、レンガ積みによる格式の高い、落ち着いた雰囲気を醸しだしています。



## 広場をデザインする

旧けやき食堂前に設けられた前庭テラスは、開放的な広場となり、2階レストランやLED農園と繋がっています。

旧パラソル広場をよりオープンにすることで、1階のオープンテラス同様、人との出会いやコミュニケーションを育み、活性化する場となっています。



## 人を育む場へ

新食堂 "KEYAKI" が、キャンパスライフの新しい風景となり、そこでの人・自然・風景との様々な出会いや対話が、豊かな人間性を育むうえでの大切な要素となります。

玉川学園のめざす全人教育の新たなステージへとつながることを願っています。



## 六角形のデザイン

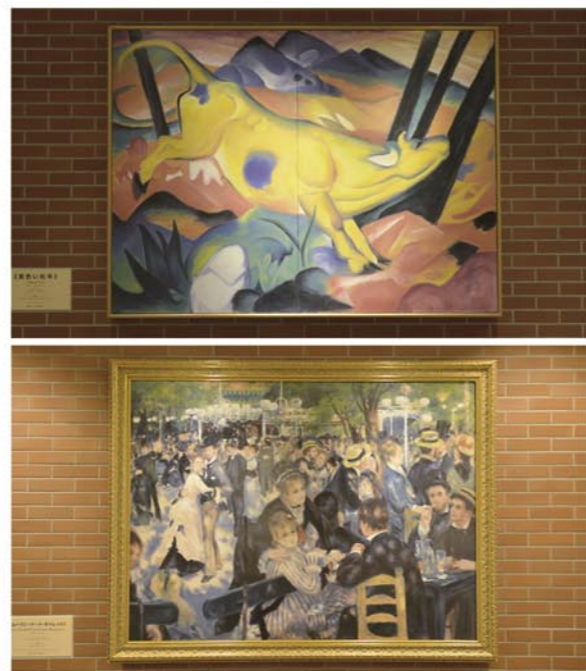
玉川学園・玉川大学の「12の教育信条」にかかげられている教育の理想は、人間文化のすべてをその人格の中に調和的に形成することにあります。

その展開は「真・善・美・聖・健・富」という6つの価値の創造を目指した教育の追究です。その6つの価値をモチーフにした六角形を内装デザインに採用しています。



## 美術陶板

紀元前8世紀に始まるインド思想の奥義書『ウパニシャッド』には「万物の根源は食物である」と書かれています。人間が日々食物を摂取することは、生命の維持のみならず、失われた能力の回復や新たな活力を生む重要な行為です。古代から食事の場は、極めて重要なものとされていました。その食事の場を楽しませるため、音楽や踊りなどが生まれ、絵画も飾られるようになったと言われています。新食堂“KEYAKI”に飾る絵画として、雰囲気にあった美しさと会話が生まれるような作品を選定し、美術陶板にしました。この美術陶板は、大塚オーミ陶業株式会社の特許技術による作品で、半永久的に保存できます。また、手で触れてよいところが絵画と異なる特色です。



上：「黄色い牝牛」フランツ・マルク  
下：「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」ルノワール・オーギュスト

## Furniture

食事・学習等の利用目的によって使い分けができる「心地よさ」「快適さ」をもった家具をそろえました。学生食堂という多目的な場所に対応しています。



英国人デザイナー Barber Osgerby (ロンドンオリンピック聖火リレートーチのデザイン担当) のデザインした椅子。食事や勉強の体の動きに合わせてスムーズに追従するように、前方に傾く角度がついています。角度は9度。適度に動くことで血行を良くし、集中力を高めます。カラーは5色。空間を彩ります。



シンプルな形とカラーで、一本脚が座る人や立っている人に干渉しません。高さが調節でき、座る人に合わせることができます。また、脚に重量があるので安定感があります。



横に長い机をセンターに並べ、大人数でのコミュニケーションの場としても活躍するレイアウトです。脚は、椅子とのぶつかりに考慮した設計になっています。



木製ながら軽快な印象を与えるこの椅子は、背座の曲線がゆったりとフィットする座り心地の良い椅子です。

オーソドックスながら、モダンな印象のこの椅子は、背座のクッションが、長時間の利用にも快適な座り心地です。

樹齢80年～100年のけやき材を使用した天然無垢一枚板のハイカウンターは、その美しさとともに、外の景色を眺めながら一人でもリラックスできる席です。テーブルの下には荷物棚を用意しました。



安定感のある4本脚のテーブル。荷物掛け用フックが4個所つき、荷物の多い学生が利用しやすいように工夫されています。

## Terrace



1階のテラスは、冬のテラス席を温めるパラソルヒーターとウィンドスクリーンを設置しました。



2階のテラスは、色とりどりのパラソルが傘をひろげ、アクティブな装いです。野外での快適な食事をお楽しみいただけます。

## 多目的スペース



1階には、小さいお子さんから大人まで靴を脱いでくつろげる空間を用意しました。絵本もあり、学生が幼稚園児に読み聞かせをする場面も生まれてくるでしょう。



2階には、親子で食事を楽しめる席を用意しました。ゆっくりと安心して食事をしながら会話がはずみ、時間がたつのを忘れる。そんな落ち着いた空間です。

## Sci Tech Farmとの関わり

西松建設株式会社と玉川大学は、平成24年1月に「産学連携に関する協定書」を締結し、新たな農業ビジネスモデルの構築を進めてきました。10月には、「ダイレクト冷却式ハイパワーLED」を導入したLED農園 "Sci Tech Farm" が完成し、1日に600株のリーフレタスを生産。2年後の第2段階では生産設備を増産し、レタス以外の作物も生産可能な日産実証プロセスを経て、生産性と高品質化を両立させた収益性の高い事業化モデルを確立し、新しい農業の提案を目指しています。新食堂 "KEYAKI" では、サラダバーにて新鮮なLED野菜をお召し上がりいただけます。



## 多目的スペースの家具製作

設計・製作は、玉川大学卒業生の家具職人 佐藤健一さん。新食堂 "KEYAKI" にあわせて、けやき材を使用した六角形のデザイン。木材を使った、手作りのあたたかさを感じさせる家具です。



## 環境配慮

- 高効率な空冷ヒートポンプチラー、エコキュート等の機器採用
- 食堂系統、事務系等は全熱交換器を設置して外気負荷を低減
- 厨房は二重フードとし、厨房機器の排熱を効率よく排気
- 高天井空間に適した居住域空調方式として、床冷暖房システムを採用
- 給気はトレンチピットから取り込むことで、地中の予熱を利用
- 中間期は建具にある開閉窓（北・南面）の窓を開口し自然換気
- 適所照明やLED照明の効率的な採用により、明るさ感を保ちながら消費電力を低減
- 見える化により各所エネルギー消費量を把握するため、電力使用量・給水量・給湯使用量を計量
- 外壁レンガ部分は外断熱工法とし、室内の熱環境を安定化
- レンガ、木フローリングなどの自然素材の活用
- 現状地盤を最大限に保全した建物断面計画
- 南側の庇による日射の軽減
- 開口部面積を低減し、複層ガラスによる断熱性能の向上

## 災害活動の拠点となるテラス

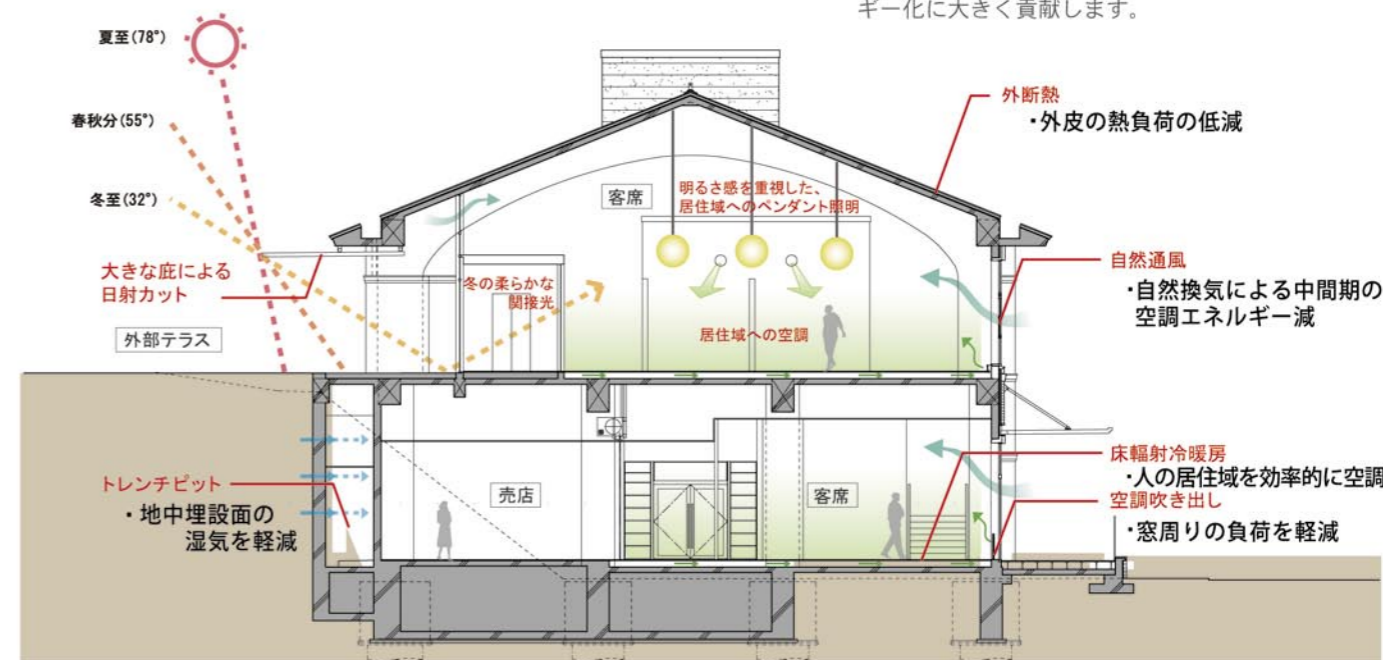
食堂には、大きな庇を設けた外部テラスを配置します。中間期は食堂内部とつながり、食堂の混雑時の緩和に貢献するとともに、災害時は外部の広場と連携して災害活動の拠点ともなります。厨房は、電気とガスを併用することで、震災時のインフラ途絶のリスクを分散し、炊き出しなどにも対応します。

## 床輻射冷暖房による効率的な大空間利用

床を二重床として、床下を利用した冷暖房を行います。これにより夏期・冬期は床輻射による冷暖房効果が得られ、高い天井をもつ食堂空間において人の居住域（およそ床からの高さ2mまでの範囲）に対する空調を行います。人の居住域のみを冷暖房の対象エリアとする効率的な空調システムにより、消費エネルギーを節約します。

## 外断熱による熱負荷制御

外壁にレンガ積ブロックを採用し、コンクリート外壁との間に断熱材を設ける外断熱工法とします。また、窓も複層ガラスとして、あわせて外気温に左右されにくい内部環境とします。その他、大きな庇による日射制御や、上げ下げ窓による自然通風などにより、夏期・中間期の省エネルギー化に大きく貢献します。



# KEYAKI

このロゴマークは、独立して繁茂する力強いプロポーションとし、その下に人の集う「木陰」を表現しました。旧けやき食堂と研究管理棟の間にある「櫟」をモデルに、幹は太く、葉の部分は曲線と直線でアウトラインを構成し、優しさと力強さをデザインしました。

新食堂「KEYAKI」の松陰橋側と大学8号館側の外壁にも取り付けられ、夜は内照式となり「KEYAKI」の目印となります。また、大学8号館側は木の部分が四季折々の色に変化し、下校する学生の目を楽しませます。



農学部学生の  
蜂のスケッチ

1階の「cafe Beehive」のロゴマークです。店舗名については、インテリアデザインコンセプトが六角形をモチーフにしていることから、六角形で連想される「ハチの巣」を英語表記したものです。また、ロゴマークに使われている蜂の絵は、農学部で蜂の研究をしている学生のスケッチを取り入れたデザインになっています。

新食堂「KEYAKI」竣工披露  
2012.12.13

学校法人 玉川学園

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

